

大人女性の口紅はローズ系がおすすめ

—口紅の色が与える印象効果調査より—

株式会社カネボウ化粧品

大人女性のみなさん、「これ1本あればどんなシーンでも使える」という“とっておき”の口紅をもっていますか？

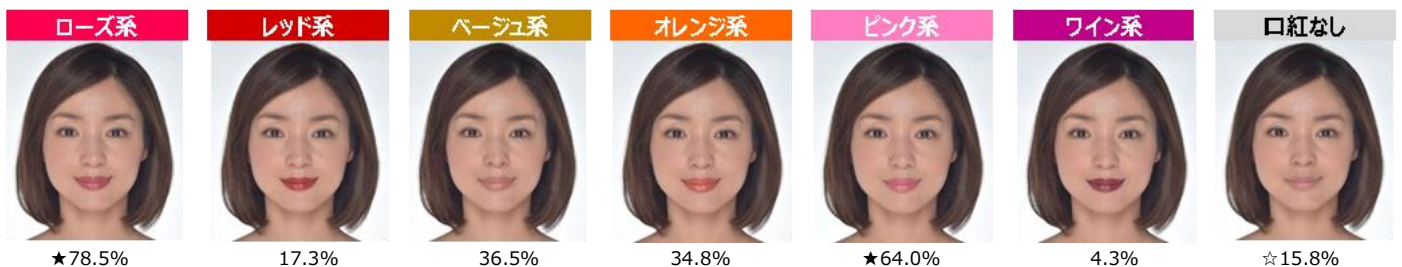
カネボウ化粧品が、40・50代ミセス400名に「リップメイクの悩み」について聞いた調査では、「自分に似合う口紅の色がわからなくなってきた」という回答が最も多く、3割を超えました。「昔気に入っていた色が、なんだか似合わない」「さまざまなシーンで、好印象を与える色がわからない」という大人女性におすすめしたい口紅の色味は、「ローズ系」です。

その理由を、カネボウ化粧品が行った調査結果とともに、カネボウ化粧品美容研究所のメイクアップアーティスト 原島 麻由美（はらしま まゆみ）からご紹介します。



その① 「印象がよい」と感じる口紅の色は??

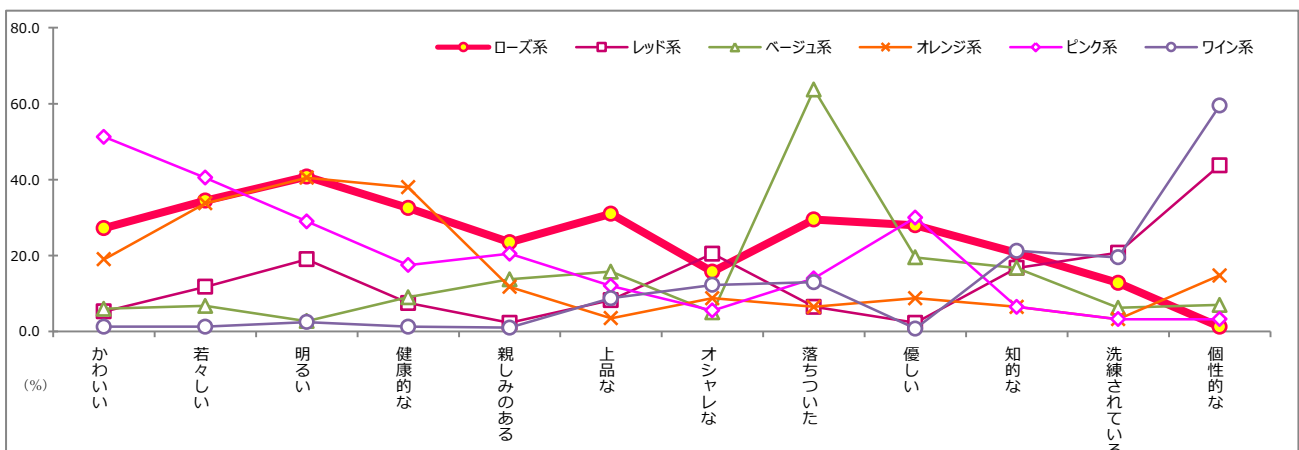
40・50代ミセス400名に、ヘアスタイルやアイメイクは全く同じで、口紅の色だけを変えた女性の写真を提示し、「印象がよい」と思う顔をすべて選んで頂きました。口紅をつけていない顔、ローズ系・レッド系・ベージュ系・オレンジ系・ピンク系・ワイン系の口紅をつけた顔、計7パターンを比較したところ、口紅を塗っていない顔に比べ、口紅を塗った顔では、「印象がよい」と答えた方の割合がワイン系の色以外でいずれも高くなりました。中でも「ローズ系」の口紅をつけた女性の顔は、78.5%の人から「印象がよい」と評価されました。



※数字は「印象がよい」と回答した人の割合

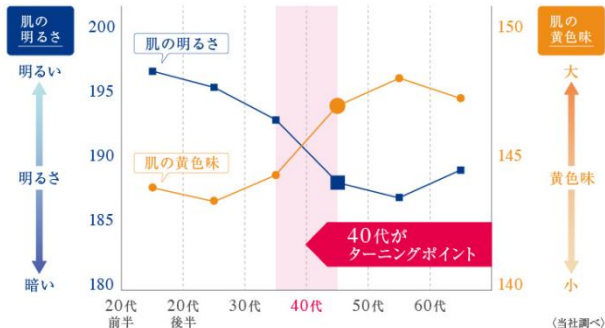
その② 「ローズ系口紅」をつけるるとどんなイメージになる??

さらに、同じ女性の写真を提示し、口紅の色によって、それぞれの顔はどんな印象に見えるのか聞いてみました。その結果、ローズ系の口紅は、「明るい」「親しみのある」「上品な」という項目で1位に。ピンク系は「かわいい」、ベージュ系は「落ち着いた」、ワイン系は「個性的」など、色によるイメージの違いもみられましたが、ローズ系の口紅は、ほとんどの項目で多く選択されました。



妻、母、女性など、さまざまな顔を持つ大人女性は、シーンや相手によって“演出したい自分”のイメージも変わります。そんな中、さまざまな項目でバランスよく選ばれるローズ系の口紅は、どんなシーンでも対応可能な、万能カラーと言えるのではないのでしょうか？

その③ 大人の肌と「ローズ系」カラーの相性



左のグラフは、加齢に伴う肌の明るさと黄色味の変化を表したものです。40代を境に、明るさが低下し、黄ぐすんだ肌の色へと変化する傾向があることがわかります。

この黄ぐすみは、「今までのメイクが似合わなくなってきた」と感じる原因のひとつになっていると考えられます。

ここで、色の法則に着目してみましょう。黄色と補色の関係にあるのは青です。補色とは、色相環上の反対に位置する色のことで、この2色を隣り合わせると、お互いの色を引き立て強調することが知られています。

口紅の場合は、黄ぐすんだ肌の色に、補色関係にある青み系のローズ系カラーをあわせることで、肌と唇がお互いの色味を引き立て合い、肌の色を明るく見せる“肌映え”効果が期待できるのです。

補色とは？・・・

色相環上の反対に位置する色。
この2色を重ね合わせると、お互いの色を打ち消し合い、隣り合わせると、お互いの色を引き立て強調する組合せになります。

サラダにトマトを加えると、色鮮やかに美味しそうに見えますが、これも補色効果の一例です。

口紅は、口もとに血色感を与えるアイテムで、女性らしさや華やかさ、また健康的な印象を演出する効果があります。同時に、気分が華やぐ、やる気が出るなど、メイクをする人自身の内面に働きかける一面も。中でも、「ローズ」という色みは、黄ぐすみしがちな大人の肌の色を明るく引き立てる“青み”カラーです。

ぜひ、万能カラーのローズ系の中から、お気に入りの1本を探してみたいはいかがでしょうか？